

令和3年度

自治会交流会2021報告書

@ひの煉瓦ホール（小ホール） + ZOOM

日野市企画部地域協働課

地域協働課では、平成26年度の地域懇談会から地域で活動している様々な団体をお呼びして地域懇談会を開催しています。

地域懇談会の参加者アンケートから、自治会同士の交流や他の自治会活動状況を聞く場が欲しいなどのご意見を多数いただき、今回の自治会交流会を企画しました。

交流会を開催するにあたり、企画・運営を一緒に行っていただける自治会員を募集したところ、16名の方が参加していただき、昨年より検討会を重ね、自治会交流会を開催することができました。

今後も、自治会の更なる発展のため、自治会交流会を自治会員の皆様と作りあげていきます。

1.	開催の概要	4 頁
2.	自治会交流会の様子	5 頁
3.	発表資料	6 頁
4.	交流の部で出た意見	7 頁
	○加入促進	
	○防災活動	
	○SNS の活用	
	○オンライン参加者	
5.	アンケート結果	11 頁

1. 開催概要

令和3年度 自治会交流会 2021

開催日 令和3年5月29日(土)

開催時間 午前の部 10時～12時 午後の部 14時～16時

会場 ひの煉瓦ホール(小ホール)・オンライン(ZOOM)

1 自治会交流会の目的

自治会交流会は自治会で抱える問題を解決するために、自治会の先進事例を紹介し、自治会同士の交流を行い自治会の活性化や問題解決に繋げることを目的としています。

2 自治会交流会のテーマ

- ① 加入促進について
- ② 防災活動について
- ③ SNS活用について

3 開催方法

コロナ下での開催のため、午前午後で同内容を会場参加とオンライン参加で開催

4 当日の流れ(午前・午後)

- 市長挨拶
- 自治会交流会趣旨説明(南平台自治会長 佐藤 琢磨)
- 自治会事例紹介
 - ・加入促進
 - ・防災活動
 - ・SNS活用方法
- 交流会
 - ・参加者は事例紹介を聞いて興味を持ったテーマごとに集まり交流を実施
- 閉会挨拶(企画部長 岡田 正和)
- 出展ブース
 - ・自治会HP体験コーナー
 - ・自治会公式LINE作成コーナー
 - ・地域包括支援センター
 - ・ひのデリバリーカー

5 主催

日野市企画部地域協働課

6 参加者

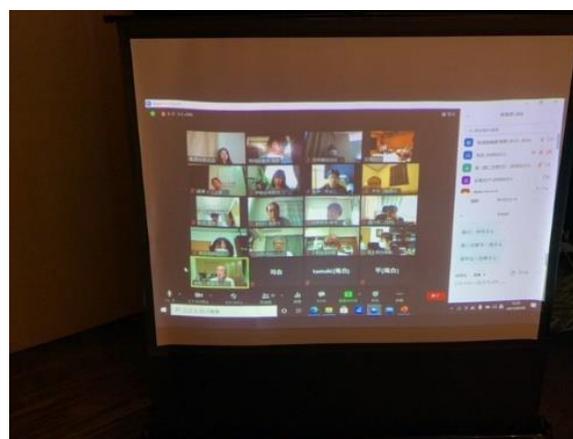
自治会、高齢福祉課、企画経営課

2. 当日の様子

1 参加者数

日程		参加区分	参加人数(人)
5/29 (土)	10:00~12:00	会場参加	34
		オンライン参加	14
	14:00~16:00	会場参加	32
		オンライン参加	14
合計			94

※午前の部と午後の部は同じ内容



3. 発表資料

発表資料については市のホームページに掲載しています。

◎発表資料

- 加入促進について
- 防災活動について
- SNSの活用について

日野市公式 HP > くらし・手続き > 自治会・市民活動 > 自治会 > 自治会交流会 2021



4. 交流の部で出た意見 テーマ「加入促進」

【午前の部】

- ・昔は自治会加入が当たり前の時代。現在は任意。意識のギャップが加入率への影響。
- ・転入者に対しては、活動内容の紹介・メリットに加えて、未加入のデメリットを伝えるようにしている。
 - 個人では戦えないこともみんなで解決することができる
 - 将来的に地域に知人がいないと孤立してしまう
- ・新規加入を促すために、転入者へのアプローチが不可欠だが、転入者の情報を得られない
→自治会長就任後地域を見回るように心掛けていた。
声かけやすい雰囲気、信頼関係構築に繋がり、地域の情報が入るようになってきた。
- ・若い世代は入っているが、逆に高齢者が抜けている。(地主さん、高齢ご夫婦など)
→高齢の方は組長などの役員を免除するスキップ制度や、グループ化して初心者をサポートする体制を築いている。
- ・自治会内でワクチン接種を行いたいという思いもある。
- ・任期が1年と短いため、継続性がない。
→役職によって任期を変えている自治会もある。

【午後の部】

- ・自治会がある理由とは？
 - 個人では戦えないことを団体に解決するため
 - 孤立しない、させないようにするため
 - 地域を持続させるため
- ・転入当時は仕事や子育てで忙しく、自治会活動そのものに参加することが難しい。
時間的余裕ができた時には、長年経っているので、向こうから加入を言いづらい。そういう方にもアプローチができれば…
- ・高齢を理由に退会を希望される方には、相談役、顧問等という立場で残ってもらえるようお願いしている。アドバイザーも立派な役割。経験者の方が残ってくれることは、新しい会長にとっては安心。
- ・継続性の観点から見ると、任期1年は短い。また選出方法についても、自主性を重んじる形がよいのではないか。自治会会則の手引きでも役員の任期が毎年交代という風になっているのでは？
→任期や役員の選出方法(輪番制/選挙制等)自治会それぞれ事情が異なる。自治会に合わせた形でよいのでは。市の書類もそこまでの記載はないはず。
- ・役員が活動を楽しんでやる必要があると考える。楽しいことでなければ、コミュニケーションは生まれにくい。
- ・自治会行事について、企画はできても実現する力を持っている人がいない。やりたい気持ちがあってもマンパワーが不足している。どうしたらいいか。

- 行事について、簡単なパッケージ化、ノウハウの提供ができないものか。
 - 自治会の役員だけで全てを行うのは大変。行事等は別途委員会を組織して行っている。
 - バス旅行は手軽で人気が高い。
 - ・地域の情報発信元として、自治会回覧板や広報板は高齢者から喜ばれている。
- (市ホームページや広報ひのだけでは網羅できない)

5. 交流の部で出た意見 テーマ「防災活動」

【午前の部】

- ・事例発表は大変参考になりました。自主防災会での活動の参考にしていきたいです。
 - ・以前は自治会で防災活動を積極的に行っていたが、高齢化が進み、あまり動けていない。
 - ・自治会で新たに防災活動を始めたいと考えていたが、参考になった。
- いきなり防災活動を始めるのはハードルが高いため、お祭り等のイベントを開くことによって、まずは“地域の楽しみ”“顔見知り”を作ることが大切。
- ・LINEのメンバーは自治会の会員ですか？
- 自治会に加入している方がメンバーです。
- ・LINEは相互の発信が出来るので、災害時には有効な連絡手段になりますね。

【午後の部】

- ・普段から近隣住民で声を掛け合い、顔見知りの関係を作る大切さがわかりました。
 - ・マイタイムラインを事前に作成しておく、いざという時に便利です。
 - ・スーパー台風の際に床上浸水等の被害にあった。いざという時の為に準備をしていきたい。
- 最近ではゲリラ雷雨や大型台風など、被害が大きい災害が全国各地で起こっているため、日頃からの備えはしておいた方が良いでしょう。
- ・新型コロナの影響で、役員会や地域の行事などがなかなか開けない。防災活動についても話ができている状態。
 - ・地域に要支援者がそのくらいいるのかが分からないのが課題。
- 民生委員の方が名簿を持っているが、個人情報関係から自治会でその情報を持つておくのが難しい。

6. 交流の部で出た意見 テーマ「SNSの活用」

- ・紙の回覧板はまだ続く。スマホを持っていない方や SNS を使ったことがない方、自治会でアカウントを作っても登録していない方もいるので、紙の回覧板は継続していく必要がある。
- ・LINE 公式アカウントは無料ですぐに立ち上げられるので、QR コードを回覧板に貼り付けて回して登録してもらおう。私の自治会では、スマホ講座を開催して使い方を教えて QR コードを登録してもらおう。そうすればそこから回覧板がまわせる。
- ・地域協働課に貸し出し用のスマートフォンが 20 台あるので、それを借りて地区センターなどで勉強会をやる。スマホに触れたことのない高齢者に簡単な使い方を教えている。
- ・スマホを持っていない高齢者が多いので地域協働課の貸出用のスマートフォンを使ってみて大丈夫なようなら、購入につなげる形がいいと思う。キャリアのスマホ講座は、iPhone だけだが、地域協働課は iPhone と android が用意されているのでやりやすい方を個々で選べます。
- ・若い方にとっての LINE は普通のツールなので、そういう方に QR コードを読んでもらい加入してもらおう。
- ・今年度から社会福祉協議会でスマホ講座を開催する。地域包括支援センターでも簡単なスマホ講座を開催してもらおうようになっています。高齢者向けのスマホ講座を広げていきたいと市も考えているようです。
- ・自治会員がもっと日野市の公式 LINE を登録すると良い。
- ・LINE と LINE 公式アカウントは違う。LINE ワークスはパソコンでも使えます。
- ・コロナ禍が今後も続くと紙からウイルスの感染が広まるのではないかという不安があるので、回覧板の電子化は良いと思う。
 - 回覧板をデジタル化したら、ちゃんと届いたのか不安。
 - 紙回覧板がいい人にはそれで回す。
 - 高齢者世代と若い世代 ハイブリット方式でやるのは 2 度手間になる。それなら今まで通りでいいと思う。
 - 若い世帯に回覧板が LINE で出来たらどうか?と聞いたら、煩わしさがなくていいし回す手間もなくていいと言っていた。
- ・自治会の会合をオンラインでやってみたい。
 - SNS でやる自治会活動のメリットを感じられれば増えてくのか?

7. 交流の部で出た意見 オンライン参加者から

・安否確認黄色旗訓練について、防災班の人に質問したい。「無事です」の旗を用意しているとのことだが、危険な状態であることを伝えたい人はどうしたのか。

⇒「旗を掲げていない」のが目印。旗のない家には声を掛けるようにした。

・市は地域の要支援者等の情報を教えてくれないのか

⇒情報は持っているが、個人情報のため一般に公開はしていない。しかし、防災安全課や高齢福祉課などを通して日野市と協定を結ぶことで、その自治会区域の要支援者の情報を共有できる。

・自治会で土地を所有しているが、管理に困っている。参加者の皆さんの中にこのようなところはあるか。

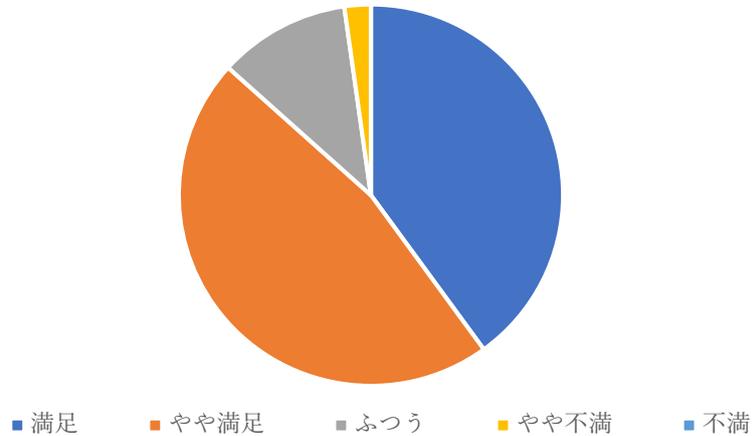
⇒鹿島台地区広場というところがある。鹿島建設という会社から市民活動に使ってほしいと譲渡されたが、税金等もかかってしまうので日野市に再譲渡した。現在は鹿島台地区広場協議会という近隣自治会との会議体を設け、活用している。

・空き家の活用を考えている。空き家を活用した事業を行っているところはあるか。

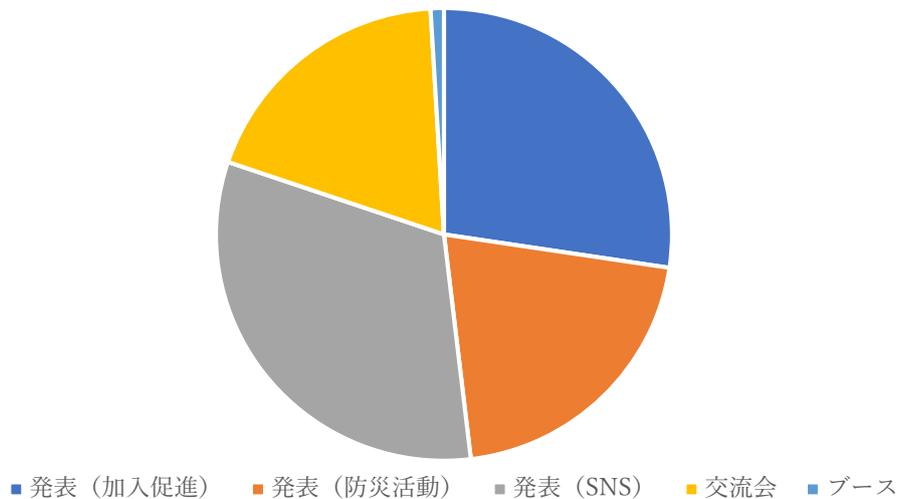
⇒自治会としてではないが、浅川リバーハウスというところで空き家を活用している。日野市の空き家活用マッチング事業から空き家と出会い、今では地域の方たちを集めたコンサートや認知症カフェ、畑づくり、最近ではスマートフォン講座などもやっている。

8. アンケート結果

参加してみてもいかがでしたか？



興味深かった内容は？



○次回の自治会交流会へ参加したいと思いますか？

1. 思う 44名 2. 思わない 2名

○感想・意見

- ・もう少し勉強してLINEの回覧をしたい。
- ・良かったです。
- ・大変参考になりました。
- ・地域懇談会と交流会の違いがわからない。交流会は自治会の関係者、懇談会は同一地域で

活動する団体であると思うが、よくわからない。

- ・大変勉強になりました。
- ・とても参考になりました。遅れを取り戻し SNS 活用など、自治会を盛り上げたいと思いました。
- ・他自治会の取り組みが分かって、とても参考になりました。
- ・所変われば、事情もアイデアも違うのが、興味深かったです。
- ・地域の企業とも交流したい。
- ・避難場所提供依頼など。
- ・時間が足りなかった。会話がうまく伝わらなかった。
- ・時間不足、テーマ絞った方が良い。ありがとうございました。
- ・開催会場の工夫。グループ人数の少数化。
- ・交流会の時間が短い！
- ・会場が騒がしく話が聞こえない。リードの仕方がむずかしいですね。参考になりました。

若い人のパワーすごい！

- ・やはり自治会加入メリットの発信が必要と思う。
- ・毎回進歩がないので参加していないが、今回は SNS について関心があったので参加した。

参加者も若くなり SNS を利用すべきことがわかった。

- ・他の自治会の話が聞けて有意でした。
- ・参加されている会長さんが戸建ての方が多いので、マンションの住民の意見が言える場所。将来に向けてのマンション住民が主となる会議をしてほしい。
- ・災害に向けて、自治会・老人会・子ども会が横のつながりを重要視したほうが良い。
- ・懇談会の時、部屋を分けてほしい。聞き取りにくかった。他のグループの声が響いてきて、グループの声が聞こえなかった。

・交流会では1つのトピックだけの話し合い（交流）でしたが、別の話しも聞けたらなお上がったような気がしています。欲張りですか？

- ・自治会活動のデジタル化を推進していきたいと思います。
- ・参考になりました。ありがとうございました。
- ・交流会の時間は身になったが、相手様の声が聞こえず残念でした。
- ・どの程度の自治会が参加していたのか、参加者を広げていくことが課題。
- ・とても参考になりました。情報をもとに自治会活動を考えていきたいと思います。
- ・可能であれば課題をもう少し掘り下げた議論できる場にして頂ければ幸いです。
- ・いろいろな活動をお聞きでき、とても有益でした。
- ・交流会で、発言が聞き取りにくかった。
- ・有意義な情報収集することができました。
- ・自治会活動への LINE の活用について話が聞けて良かったです。まずは役員のグループ LINE を作成するところから始めたいと思います。